

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組 2 組 4 組 ～ 7 組

教科担当者： 保田

使用教科書：（ 教育出版 書道 I ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】作品の文化的・歴史的背景及び多様性について、芸術活動を通して理解し、その表現に必要な知識・技能を身に着けている
- 【思考力、判断力、表現力等】課題を多角的に解釈することができる。社会における芸術の役割、価値を考えて創造的に表現できる。
- 【学びに向かう力、人間性等】芸術を生活や社会に活かそうとし、主体的に芸術活動に取り組もうとする。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
課題の周辺知識を理解し、臨書を通して技術を習得する。	思考、決定をすみやかにし、課題に合う表現を試みる。	積極的に授業に取り組み、楽しく課題をこなす。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮					
1 学 期	芸術書道の定義 書の美を求めて グループ書（相互協力）	書写書道と芸術書道 書の世界への理解 協力して作品を制作・鑑賞する。	○	○	○	書の芸術性を理解できる。 社会や生活と、書との係りについて考察できる。 グループ作業に楽しく協力できる。	○	○	○	3
	書体の変遷 用具・用材・毛筆導入	漢字の発生から現代に至るまでの五書体の変遷と、日本の仮名発生までの係り 多様な用具・用材への理解と、毛筆の扱い（角度・速度・筆圧）		○	○	漢字の起源、歴史について理解できたか。硬筆との違いを認識して、毛筆の特性を生かすための技術的な部分のプロローグ	○	○	○	3
	楷書の学習 九成宮醜泉銘、孔子廟堂碑、雁塔聖教廉 顔氏家廟碑、北魏の書	唐四大家、北魏の書など異なる書風を理解し、表現方法・技術を習得する。		○	○	古典の周辺情報を理解し、各々の特徴をとらえて、技術を習得する。	○	○	○	16
2 学 期	行書の学習 さまざまな行書	楷書との相違を理解し、技術を習得する。		○	○	王羲之・顔真卿・三筆三跡の行書を理解し、臨書の技法を学習し、表現できる。	○	○	○	16
	条幅作品	漢字の条幅作品を制作		○	○	楷書又は行書で条幅作品を制作することができる。	○	○	○	8
3 学 期	かなの書の学習	かなの種類、成り立ち、用筆法の学習 古筆の鑑賞と臨書			○	仮名の基本から連綿、変態仮名を理解し、右筆の臨書ができる。	○	○	○	16
	漢字仮名交じり文	感動や思いの表現	○		○	創作活動を楽しく、意に添う表現ができる。	○	○	○	8
									合 計	70